学校番号	306

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	『新詳地理探究』（帝国書院）『新詳高等地図』（帝国書院）						
副教材等	『地理資料　COMPLETE』（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界の気候、地形、経済、文化について興味を持って取り組んでください。
・地図や写真、統計資料などを正しく読み取るようにしてください。
・作業学習に意欲的に取り組んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の地理的認識を培う。
【思考力、判断力、表現力等】
世界の諸地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、諸地域の地理的認識を深めるとともに、世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察する。
【学びに向かう力、人間性等】
地理的な諸課題の解決の方向性や持続可能な国土像の在り方を探究する学習を通して、現代世界における日本の現状と望ましい将来像についての認識を深めるとともに、国際社会に主体的に生きる日本人の資質を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに、世界をいくつかの地域に区分する方法や地域の概念、地域区分の意義などについて理解している。 世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身につける。 現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。	地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 現代世界の地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1部第1章 自然環境	1節　地形 1　地形の成因と地球表面の起伏 2　地球規模の大地形 3　河川流域と海岸にみられる小地形 4　そのほかの特徴的な小地形 2節　気候 1　気候の成り立ち 2　気候と生態系 3　世界の気候区分 4　さまざまな気候帯 5　気候変動と異常気象 3節　日本の自然環境 1　日本の地形 2　日本の気候 3　開発に伴う災害と防災・減災の取り組み 4節　地球環境問題 1　地球環境問題とは 2　さまざまな地球環境問題 3　地球環境問題の解決に向けた取り組み	a：地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	発表 ワーク 課題提出
	第1部第2章 資源と産業	1節　農林水産業 1　農業の発達と分布 2　農業の地域区分 3　現代世界の農業の現状と課題 4　日本の農業の現状と課題 5　世界と日本の林業 6　世界と日本の水産業	a：資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連	定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	発表 ワーク 課題提出

		2節　食料問題 1　世界の食料問題 2　日本の食料問題 3節　エネルギー・鉱産資源 1　エネルギー資源の種類と利用 2　化石燃料の分布と利用 3　電力の利用 4　鉱産資源の種類と利用 4節　資源・エネルギー問題 1　資源･エネルギーをめぐる課題 2　日本の資源･エネルギー問題 5節　工業 1　工業の発達と種類 2　工業の立地 3　世界の工業地域 4　現代世界の工業の現状と課題 5　工業の知識産業化とスタートアップ企業 6　日本の工業 6節　第3次産業 1　経済発展と第 3 次産業 2　商業の現状と変化 3　商業以外のさまざまな第3次産業	する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	発表 ワーク 課題提出

2学期	第1部第3章 交通・通信と観光・貿易	1節　交通・通信 1　世界を結ぶ交通 2　日本の交通の特徴 3　情報通信の発達 2節　観光 1　余暇の拡大と観光産業 2　日本の観光とその変化 3節　貿易と経済圏 1　世界の貿易と地域間格差 2　貿易の自由化と経済連携 3　日本の貿易	a：交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	発表 ワーク 課題提出
	第1部第4章 人口村落・都市	1節　人口 1　世界の人口 2　人口の移動 2節　人口問題 1　世界の人口問題 2　日本の人口問題 3節　村落と都市 1　集落の成り立ち 2　村落の形態と機能 3　都市の成立と形態・機能 4　都市圏の拡大と都市の構造 4節　都市・居住問題 1　発展途上国の都市・居住問題 2　先進国の都市・居住問題 3　日本の都市・居住問題	a：人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	発表 ワーク 課題提出

	第1部第5章 生活文化、民族・宗教	1節　衣食住 1　世界の衣服と食生活 2　世界の住居と衣食住の画一化 2節　民族・宗教と民族問題 1　世界の民族・言語 2　世界の宗教 3　さまざまな民族問題 4　多文化の共生に向けた取り組み 3節　国家の領域と領土問題 1　現代世界と国家 2　領土問題と解決への取り組み 3　日本の領域と領土をめぐる問題	a：生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：生活文化、民族・宗教についてよりよい社会の実現を視野にそこにおける課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	発表 ワーク 課題提出
	第2部第1章 現代世界の地域区分	1節　地域区分 1　地域区分の意義と指標	a：世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに、世界をいくつかの地域に区分する方法や地域の概念、地域区分の意義などについて理解している。 世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身につけている。 b：世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：現代世界の地域区分についてよりよい社会の実現を視野にそこにおける課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	発表 ワーク 課題提出

	第2部第2章 現代世界の諸地域	1節　中国　-項目ごとに整理して考察 1　中国の政治体制と多様な民族 2　中国の食生活と農業・水産業 3　中国の工業化と海外進出 4　経済発展に伴うさまざまな課題 2節　韓国　-項目ごとに整理して考察 1　韓国の歴史と生活・文化 2　産業の発展と生活の変化 3節　ASEAN 諸国 -項目ごとに整理して考察 1　ASEAN 諸国の歴史と文化・民族 2　ASEAN 諸国の農業とその変化 3　ASEAN 諸国の工業とその発展 4　ASEAN の変化と課題 4節　インド -経済成長に関連づけて考察 1　急速な経済成長を支えた産業の発展 2　増加する人口と農村の変化 3　インド社会の変化と経済格差の拡大 5節　西アジアと中央アジア -地域を比較して考察 1　イスラームと人々の生活文化 2　交易の歴史と乾燥地域の農業 3　豊富な資源を生かして進められる開発	a：いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 b：現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	発表 ワーク 課題提出

3 学 期		6 節　北アフリカとサハラ以南アフリカ -地域を比較して考察 1　歴史的な背景によって形成された多様な文化 2　他地域との結びつきと人々の生活の変化 3　一次産品への依存とそれがもたらす課題 7 節　EU 諸国 -項目ごとに整理して考察 1　EU の成り立ちと結びつき 2　ヨーロッパの多様な農業と政策 3　移り変わる EU の工業 4　EU 拡大による影響と課題 8 節　ロシア -国家体制の変化に関連づけて考察 1　ロシアの成り立ちと体制変化 2　体制変化が産業にもたらした影響と課題 9 節　アメリカ合衆国 -項目ごとに整理して考察 1　移民国家としてのアメリカ合衆国の発展 2　世界の食料生産の鍵を握るアメリカ 3　進展する科学技術と産業 4　多民族社会と移民増加に伴う課題	a：いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 b：現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	発表 ワーク 課題提出

		10節　ラテンアメリカ 　－歴史的背景と関連づけて考察 1　ヨーロッパの影響が強い社会 2　大土地所有制と農業の変化 3　工業化の進展と経済発展 11節　オーストラリアとニュージーランド -国を比較して考察 1　移民の歴史と多文化社会 2　自然の恵みを生かして発達した産業 3　強まるアジア･太平洋圏との結びつき		定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	発表 ワーク 課題提出
	第3部第1章 持続可能な国土像の探究	1節　将来の国土の在り方 1　日本の強みと地理的な課題 2節　持続可能な日本の国土像の探究 1　課題の把握 2　課題の追究 3　課題の解決	a：現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。 b：現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。 c：持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	発表 ワーク 課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度